

関西学院大学 研究成果報告

2025年 3月 26日

関西学院 院長殿

所属： 社会学部
職名： 教授
氏名： 倉島 哲

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	☒ 関西学院留学 長期（滞在国：フランス） ☐ 関西学院留学 短期（滞在国：） ☐ 宣教師研究期間 ☐ 関西学院外留学（滞在国：）
研究課題	フランスにおけるオルタナティブな身体実践に関する社会学的研究
研究実施場所	パリ
研究期間	2024年 3月 20日 ～ 2025年 3月 21日（ 12 ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

申請者は、1999年より現在まで、太極拳の実践についてフィールドワークを行うことで、身体技法の社会学的認識における諸問題を検討してきた。

留学中は、次の成果をあげることができた。

1) 2024年6月にパリ・オリンピックに合わせて開催された国際シンポジウムD'autres corps, d'autres jeux(オルタナティブな身体、オルタナティブなゲーム)の組織委員として参加し、La suspension de la finalité dans la pratique des arts martiaux(武術実践における目的性の保留)という招待講演(6月13日)を行うとともに、開催期間の前後を含めて各国の研究者と情報交換を行った。

本シンポジウムは、パラリンピックに代表される障害者スポーツのみならず、アダプテッド・スポーツおよび伝統スポーツを含めたオルタナティブ・スポーツ全般の現状と課題を検討するものであり、申請者は組織委員の一人として準備に携わった。短期の出張として本シンポジウムに参加するのではなく、留学期間を通して準備からフォローアップまで関与することで、これまでの太極拳研究をオルタナティブ・スポーツの文脈により十全に位置付けることができた。

また、大会期間中に武道場を使用して太極拳の実技ワークショップSport et jeux traditionnels : Le tai chi(6月26日)を主催することで、実技レベルでも多くの研究者および大学院生との交流を深めた。

2) 今回の留学の第二の目的は、フランスにおけるオルタナティブ・メディスン(代替医療)、とりわけ、鍼灸・指圧・整体などの東洋医学の実践の現状を調査することである。というのも、太極拳

は、武術としての側面のみならず、養生術としての側面を備えており、後者は陰陽五行説・経絡経穴学説を中心とする東洋医学の全体と密接に関係している。そのため、フランスにおける太極拳の社会的位置づけ、および、実践者にとっての太極拳の意味を理解するためには、現地における東洋医学の実践のありようを調査する必要があるためである。

調査のフィールドとして、パリで活躍する日本人鍼灸師の主催する東洋医学の月例ワークショップに継続的に参与観察を行った。

参与観察を重ねることで、フランスにおける代替医療の広がり(指圧・鍼灸・カイロプラクティック・ソフロロジー・ホメオパシー・レイキ等)、および、太極拳・気功・ヨガの実践との重なり合いを観察することができた。また、ミクロな視点から、フランスの文化的土壌における指導の特殊性と、症状を前にした施術ありようの普遍性の交わり合いを考察した。加えて、ワークショップの主催者に対する個別インタビューを2日間(2024年11月2-3日)にわたり実施した。

この調査により、武術ないしスポーツのひとつとしての太極拳のみならず、養生術としての太極拳のフランスにおける広がりを捉えることができた。

3) 研究成果の発表としては、単著論文および著書(分担執筆)のほか、パリ・シテ大学での招待講演(2024年6月13日、上掲)、ローザンヌ大学での招待講演(2025年2月28日)、オンラインでの研究発表(2024年4月5日)を行った。

単著論文

Kurashima, A., (2024). Évolution du tai chi à la lumière de l'émersologie, *Revue de Théologie et de Philosophie*, 156(2), 137-155.

著書(分担執筆)

日本スポーツ社会学会編, (2025).『スポーツ社会学事典』, 丸善出版. (「身体の志向性と自律性」, p. 398-399, 「すべての知は身体から始まる」, p. 402-403, 「身体論的／肉体論的アプローチ」, p. 632-633を担当)

招待講演

Kurashima, A., (2024). La suspension de la finalité dans la pratique des arts martiaux, D'autres corps, d'autres jeux, Société Francophone de Philosophie du Sport et l'Institut des Sciences du Sport Santé, Université Paris Cité, Paris (France), 6月13日.

Kurashima, A., (2025). Repenser la sportivisation des arts martiaux à travers le tai chi : la pratique des formes et de la poussée des mains. Body Cultures, Martial Arts and Combat Sports (Centre d'études olympiques & de la globalisation du sport), Université de Lausanne, Lausanne (Suisse), 2月28日.

口頭発表

Kurashima, A., (2024). L'autotélisme du sport chez Allen Guttmann et ses implications pour le sport santé, Le sport santé : Une exception française ? (Conférence en ligne), 4月5日.

国際シンポジウムの企画運営

シンポジウム名 : D'autres corps, d'autres jeux, 2024年6月12-13日, Université Paris Cité (フランス・パリ)

実技ワークショップの企画運営

ワークショップ名 : Sport et jeux traditionnels : Le tai chi, 2024年6月26日, Université Paris

以上

提出期限 : 研究期間終了後2ヶ月以内

提出先 : 研究推進社会連携機構 (NUC)

※関西学院留学は所属長を経て、宣教師研究期間の大学教員は学部長及び学長を経て院長に、高中部教員は各部長及び高中部長を経て院長に提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。